

二十年に一度 紐解かれる歴史絵巻

東大社 式年大神幸祭

4月10日～12日

全国屈指の大神幸

銚子大神幸祭は、康和4年に始まり、第10回から二十年ごとに東大社（東庄町宮本）、雷神社（旧海上町見広）豊玉姫神社（旧小見川町貝塚）の三社で行う式年大神幸祭です。各神社の神輿を中心として、大勢の氏子が旗や威儀物を掲げてお供します。御神幸の道のりは非常に長く、片道30キロにも及びます。

御神幸は、県民族無形文化財に指定されている旭市倉橋の弥勒三番叟が三社の総露払いとして先導し、続いて三社の神輿と大勢の人々が連なる大掛かりなものです。銚子街道に設けられた関所では、全国でも類を見ない形式の大名行列をはじめ、下座や手踊りなどがにぎやかに披露されます。今年はこの行事の開催年にあたり、4月10日（土）～12日（月）

に54回目となる銚子大神幸祭が行われます。

御神幸のハイライトは、4月11日（日）、銚子市外川浦のお浜降り（船による海上渡御）とお潮汲み神事です。また12日（月）は、銚港神社から白幡神社までの荘厳華麗な三社の神輿パレードがあります。外川関所の広場は、数万人の人出となり、東総地方最大のお祭りと言われています。

銚子市の15の関所で数々の芸能披露

東大社のお供として、氏子の里人が古式ゆかしく芸能を披露します。これを迎えるため、銚子市内には、「関所」が設けられます。

今回の関所は①笹本②小船木③野尻④高田⑤芦崎⑥余山⑦柴崎⑧松岸⑨長塚⑩本城⑪小川⑫外川⑬高神⑭小畑⑮前宿の15カ所です。

東庄町からは羽計、石出、東今泉、今郡、栗野・八重穂の6区（5団体）が芸能を披露します。このほか青馬から神輿の使者が加わり、銚子市内の各関所をまわります。

芸能の見どころは随所にあります。使者が袴や羽織袴姿で大小の刀を腰に述べる口上、門番・使者受け・殿様とのやり取りは正に歴史絵巻。

大名行列では、箱を担いだ二人が糸乱れぬ動きを見せる「先箱」や草履を空中に放る「草履取り」の技、少年少女の鉄砲隊などが観客を釘付けにします。また、道中で笑いを誘う「雲助」の芸や馬に乗った勘定奉行のユーモラスな話芸は、観客を抱腹絶倒させます。

揃いの着物姿も鮮やかに、下座に合わせて舞う手踊りは、日本の美を感じさせます。ほかでは見られない二十年に一度花開く数々の伝承芸。一見の価値があります。



銚子大神幸祭◎堀河天皇の時代、康和4年(1102年)に銚子高見浦に大津波が起こり、海が荒れに荒れ海難が長く続いたため朝廷から宣旨がくだり、初めて祭礼(銚子大神幸祭)が行われた。この日が4月8日であったため、後年東大社の例祭の日と定められた。



東大社第77代宮司
とくえい
飯田 篤永 さん (61歳)

厳かな伝統行事と 華やかな芸能文化

歴史を経て、人が伝える
御神幸の「静」と「動」
その両面を見てほしい

融合する文化遺産

九百年の歴史を誇る東大社の伝統行事が近づいてまいりました。多くの方の協力をいただきましたが、この春二十一年に一度の日を迎えます。厳しい経済状況の中にもかかわらず、皆さまから寄附を頂戴し、心より感謝申し上げます。

今回で54回目となるこの神幸祭は、地域が受け継ぐ二つの歴史と文化が融合して、作られています。

一つは、里の安寧を祈願する東大社として最も大事な祭礼としての歴史。もう一つは、これに伴って、地域の人々が

絆深める行事

独自に育んできた踊りや技などの芸能文化です。

皆さんが御神幸と聞いて思い描くのは、華やかな芸能文化の方ではないでしょうか。手踊りや、氏子らによる大名行列、関所での口上や子ども殿様姿など、豪華な衣装や熱の入った演技は、見る人を時代絵巻の世界へと引き込みます。

また、祭りに出演を経験した方にとっては、長期間にわたる特訓、その練習の成果を披露した充実感や喜びは忘れられない一生の思い出として心に刻まれているのではない

でしょうか。そして行事を通して深まった絆は、大きな心の糧となったはずです。

皆さんには、これらの芸能と合わせて、日本の文化を知り、きっかけとして、祭りの核となる祭礼にも注目していただきたいと思います。

東庄の歴史やいわれ、開催された時代の社会背景などに思いをはせながら、全体を見ると、先人の思いや足跡を感じ、違った面から東庄を思うことができるかもしれません。昔のエピソードなどを先輩から聞くのも楽しく勉強になります。ぜひ、たくさんの方に、この行事を見ていただきたいと思います。

第54回東大社式年大神幸祭

芸能披露予定時間

「足揃え」と「笠崩し」 神幸祭の予行練習的要素として「足揃え」、アンコール的要素として「笠崩し」が行われます。雅やかな芸能を、町内の同じ場所で一日のうちに観ることができます。

地区	芸能	4月4日(日) 足揃え		4月17日(土) 笠崩し	
		宮本関所 (東大社)	宮野台関所 (運動公園)	宮本関所 (東大社)	宮野台関所 (運動公園)
宮原(銚子市)	下座手踊り	8:00	9:00	10:00	8:00
倉橋(旭市)	弥勒三番叟	9:00	15:00	11:00	9:00
青馬	神輿使者	9:40	15:40	11:40	9:40
石出	下座手踊り	10:00	8:00	12:00	14:00
栗野・八重穂	大漁丸薬売り・手踊り	11:00	14:00	13:00	15:00
羽計	雲助	12:00	10:00	14:00	12:00
羽計	大名行列	13:00	11:00	15:00	13:00
東今泉	下座手踊り	14:00	12:00	8:00	10:00
今郡	源頼朝公富士の巻狩り	15:00	13:00	9:00	11:00

※雨天の場合 宮本関所⇒橘小学校、宮野台関所⇒東庄中学校

東大社◎御祭神は、第12代景行天皇が日本武尊(やまとたけるのみこと)の東征の跡を巡幸した折、当地に一社を営み海神の娘玉依姫命(たまよりひめのみこと)を祀ったのが東大社の始まりとされる。